

企画名：ヴォーリズの森・かおりの庭づくり

企画団体名

学校法人 ヴォーリズ学園

企画協力団体：西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会

ランドスケープデザイン・アトリエ風

現在までの取組内容や応募に至った背景

ヴォーリズの森は、学校法人ヴォーリズ学園の教育施設です。1994年学園のグラウンド建設のために用地取得し、その敷地の一部に学園附属の近江兄弟社小学校の屋外教育（学びの小屋、陶芸窯、キャンプファイヤー場、記念の森など）を設けました。2020年春ヴォーリズみらい構想（学園の将来構想）の一環として「ヴォーリズの森」としていっそうの魅力づくりとして再整備を行うこととしました。学園の活用以外に広く学園外の人たちも利用できるものとしてまた、地域の自然環境とあわせ施設に新たな魅力を生み出そうと計画しています。

企画の紹介とその狙い

- 敷地周辺のヨシ原湿地の自然環境＝国の重要文化景観第一号に指定（2006年）、ラムサール条約登録地（2008年）、世界農業遺産（申請中）などの地域に位置する教育フィールド（実践活動地）として、「かおりの庭づくり」を行うことでさらなる個性と魅力を創る。
- 植物のかおりを通じて、地域の自然への人々の関心を生み、多様な昆虫類の生息の場をつくる。
- 地域で活動する「西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会」との協力において、さまざまな自然との関わりを深め、地域の魅力などを学外に広く伝える。
- ヴォーリズの森・かおりの庭づくりを通じて「SDG'S」や「ESD」と取り組みをすすめる。

企画実施のスケジュール

2020年									2021年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ヴォーリズの森整備計画と改修作業									ヴォーリズの森の運営／活用／維持管理の継続								
植栽地の準備と一部植栽開始									かおりの庭づくりワークショップ								

年	活動内容	規模・頻度
2020年5月～2021年4月(継続)	ヴォーリズの森整備計画検討と施設の改修作業（ボランティアによる自力施工など含む）	●5名／回 ●12回／年
	西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会 月例観察会の実施（おもに周辺のヨシ原湿地における鳥類、昆虫類、哺乳類などを対象）。	●15名／回 ●12回／年 ●200人／年
	年2回（春・夏）のPTA環境美化活動による草地の管理（刈り払いなどの作業）	●10名／回 ●2回／年
年	今後の展望	
2021年3月以降	3月～6月 ヴォーリズの森・かおりの庭づくりワークショップ開催（予定）各植物の特徴や役割を解説した後にあらかじめ指定（植物に適した）場所に植え込む。（全5日、各回20～30名を想定し、延べ100～200人程度の参加）	
	植栽後は、説明看板で植物の状況を知らせる工夫を行う。	
	自然観察会（月例）、解説会（年4回程度）を「かおりの庭」で行う予定。	

かおりの樹木・草花の選定理由や見頃

早春の花木類（マンサク、サンシュユ、ロウバイ）にはじまり初夏から盛夏のスイカズラやローズマリー、セージ類、など花の変化を楽しみ。秋の黄葉のかおりに特徴のあるカツラ、冬にも葉を楽しむ事できるようにゲッケイジュやヤブニッケイを植栽する。その他、宿根草類は初夏から晩秋まで花やかおりを楽しみ、多くの蝶類の蜜源植物・食草となる種を選んだ。ただし敷地内の緑地には昆虫類の食草・食樹となる樹種（クスノキ、コナラ、クヌギ、エノキ、ヤナギ類、ススキなど）が既にある。

かおりの樹木・草花名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マンサク、サンシュユ ロウバイ、ヒメコブシ	■											
スイカズラ、フッドレア、 セージ類					■							
ハギ、フジバカマ、 オミナエシ、ミソハギ							■					
カツラ、メグスリノキ				■						■		
ニオイヒバ、ヤブニッケイ、 ゲッケイジュ	■										■	

企画名：ヴォーリスの森・かおりの庭づくり

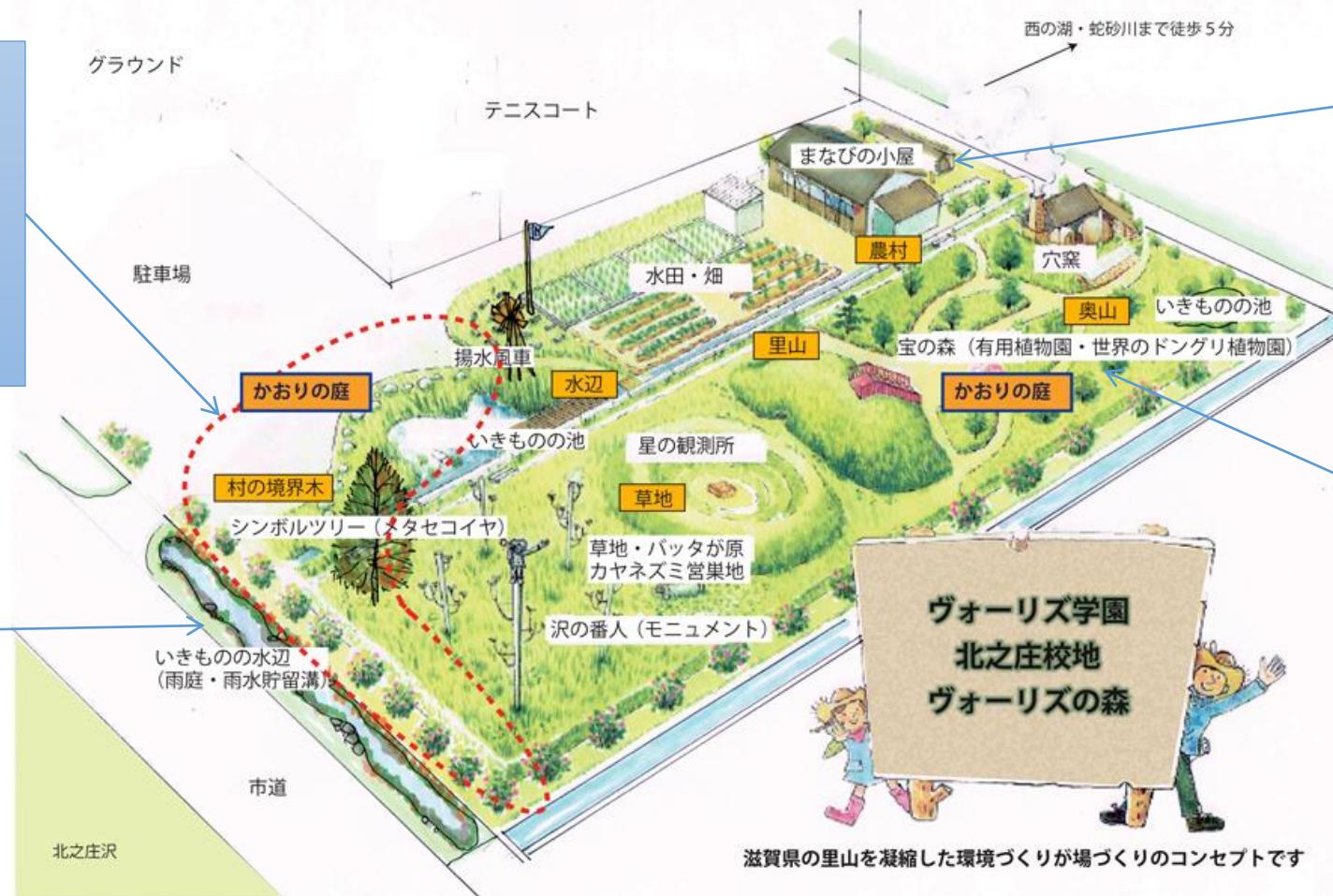
主要な地点の成木時の予想図（企画実施後）

アピールポイント①

「いつでも楽しめる場所の魅力」
駐車場の接する緑地に「かおりの庭」を育てることでグラウンドを訪れた多くの利用者が花やかおりを楽し無事出来る。普段、ゆっくり緑を楽しむ事が出来ない学生や保護者も練習や試合の待ち時間の間に接することが出来る場所。

アピールポイント②

「緑環境の連続の魅力」
既存の緑地や今後整備予定箇所（いきものの水辺：雨庭）に連続させることで植物の生育範囲やいきものの生息環境の広がり確保する。



アピールポイント④

「活動拠点の魅力」
まなびの小屋の改修整備（2020年5月～10月）によりボランティア参加が活発になることを想定している。開かれた拠点があることで決めの細かい関わりが生まれる。

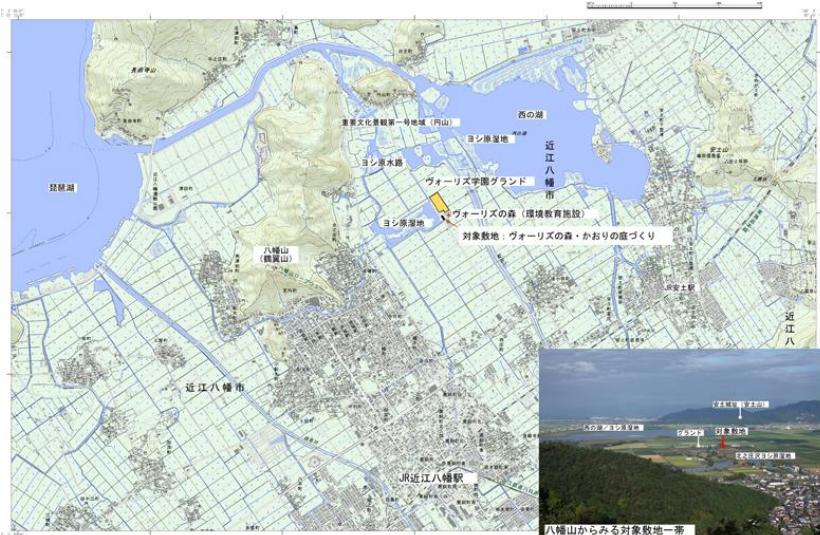
アピールポイント③

「多様な樹林環境の魅力」
既存の森（有用植物園、記念樹の森）への植栽（かおりの樹木を補植）を行うことで、多様な樹林環境を育てる。現在は、コナラ、クヌギ、クスノキ、ヤマザクラなどが育つ小さな森。

現状写真（企画実施前）



「かおりの庭づくり」対象地現況写真



「かおりの庭づくり」対象地位置図

樹木・草花の配置図（平面図）



補足：具体的な植栽位置はワークショップ時に参加者と考え/植え込み作業を行います。植え込み箇所は、4つのゾーンから考えています。